地質係



地質

調査所報告

告

第百二十號

地質調査所報告

目

昭和十一

年

度 事 業

報 告 次

第百二十號

昭和十二年九月

目 次

庫 係: 務 係: 係…… 五頁

三頁

九頁

:九頁

出 庶

版

文

鑛 分

物

陳 析

列館

地

形

地

質

地 質 調 查 所

山

長

根

新

次

地

質

倸

幅 調 査

於テ 調査シ 圖 タル 七萬 五千分之一地

質圖幅ハ其敷五ニシテ調査未完三圖幅調査完

岡幅ナ 圖幅名調查員其 他左表ニ 示ス

ガ如シ。

結二

IJ.

本

年 度二

其

_	_			-		_			-	_	
北		シ	シテ、本で	本油		琴	延	角	大	生	(圖
海			所	田					聖		幅
道	油田田		ニ於テ	調査ハ		平	岡	館	寺	野	名
THE OTHER			擔	前	-			4	755	arts:	
惠空			當	年	*ala	佐藤	石	佐藤	13	渡	調
	名		セ	度	油	(F)	井	(源	部	瀬	
岱			n	3		支					查
			モ	ŋ	田	技	技	技	技	技	A
別知			1 =	繼續	調	師	椨	飾	静	旗	員
Ac.			シ	シ	-4-	昭	昭	昭	昭	昭	
飯	調		テ	テ	查						
塚			33			和	和	和	和	和.	野
44	查		本	鑛		- -	- -	- -	-[-	4-	
技	員		年	山		=					外
ľЮ	3		度	局		年	415	415	41=	华	調
			=	=		至自	*	至自	至自	至自	
昭			於	於			至自	土八		-1-1-	查
和	_		テ	テ		==	三二		九八	三 月月	期
	野		調	施		月月	月月	月月	月月	н н	
<u>.</u>	外		查	行		三十	三十三	三十	二十十九七	十 六	間
华	75		シ	t		二七 日日	日日	十八	ルセ	六一	•
	調		B	ル		日日	日日	日日	日日	日日	
至自十六	-4-								-4	-	
二六	查		ル	液		本	本	本	本	本	
HH	期		油	體		本年	本年	本年	Æ	本年	
1十二月	***		田	燃		度着手、	废着手、	废着手、	度着手、	度着手、	
_+	間		名	料		頂手	頂手	百	百	頂毛	記
田田			調	自							
.,			查	給		調査	調	調	調	湖	
			員	促		查	查	查	查完	查	
本			其	進		未完	未完	未完	結	査完結	•
唐	記		他	事			, ,	, ,			
着	110		1 E								
本年度着手、				業							事
			F .	1							_
查	事		表								
調査完結	-		1	部							
精			如	1							

						シ	
宮	新	新	褔	秋		-	水
城	海	潟	·島	田			年度
縣	縣				調	·	=
m		縣	縣	縣			於
美	柏	下	平	下	查		テ施
郡	崎	油	田丁	油			施行
宮崎	用广	ш	附	FIT	件		シ
鍍	地	111	ભા	tri			B
山	震	弒	近	試			ル特
探電	探	掘	地	掘	名)		别
		-11-	Era.	41-			調
鍍氣	鍍	井	質	井			查
紺	植	千	渡	+	_		ハ總
野	村	谷	邊	谷	調		計
					查		+
技	技	技	技	技	員		
手	ŘФ	िर्क	िक्त	节			件二
昭	昭	昭	昭	昭			シ
和和	和	和	和	和	_		テ
+	+	+	+		野		其
-			****		外		件名
年	年	华	华	4:	調		調
至自	至自	至自	至自	至自	查		查
八八	八八	七七	七六	五四	捌		員
月月 二	月月	月月十十	月月二	月月二三	間		野外
十一九	+	九三	七十八八	++	1		調
日日	日日	日日	日日	日日			查
							期
							間左
				•			1
							如

三、特 别

調

查

新 長 潟 野 縣 縣 图 織長 野 州野 町 鈴 渡 邊 木 技 技 師 師 昭和 昭和十一年 { 宜十] 月 三十日 十一年【五十二月 三六 HH 本年度着手、調査完結 本年度着手、調査完結

鹿	大	千	秋	青岩	Щ
兒島	分		田	森手	梨
縣	縣	葉	縣	縣縣南九	
#1	大	縣	鹿仙 角北	津占	縣
水郡	野	75/11	郡郡	輕郡人	抻
阿	郡	下	1	千大	府
久			割旭澤	歲慈 村町	ил
根	尾	天	澤鐵		市
鍍	平	44	山山	外外 十六	附
山電	鏤	然	電	ケケ	近
氣	山	瓦	氣	鍍	
探	鍍		採	業	溫
鑛	床	斯	鍍	源	泉
紺	齊	Ξ	植	紺	佐藤
野	藤	土	村	野	(戈
技	技	技	技	技	技
手	手	師	椨	手	Ŕij
昭	昭	昭	昭	昭	昭
和	和	和	和	和	和
+		1-	+	+	+
=	===	=		-	
4F.	华	4:	华	年	年
至自	至自	至自	至自	至自	至自
==	==	三三	十九	十九	八八
月月	月月	月月	月月	月月	月月
<u> </u>	二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	三十二	== ++	+	一五
九八	七二	_	六三	八五	四五四五
日日	日日	日日	日日	日日	日日

四 受 託 調 査

本

年度受託調查

ハ九件ニ

シ

テ

其件名、調査員、其他左表ノ

如

シ。

岩 山 手 形 (調 縣 iļī 釜 石 查 附 缋 近 Щ 件 鑛 地 床 名) 下 測 量 水 村 佐藤(戈)技師 (調 囯 查 技 員 手 昭和十一年 昭和十一年 野 外調 全五月 一 目 (重六月 四 日 1 回五月二十二日 查 期 間)

日本製鐵株式會社長 大市 長 沼 勵 保 吉 作

Щ

形 (調

查

申 請

人

司

地 形 係

令 前 浉 長 富 北 和 神奈川縣足柄下郡吉濱村溫 北 野 部 記 奈 山 樺 海 歌 縣下 縣 受 Щ , 太 Ш 道 縣 下 囇 託 伊 東 縣 高 新 那郡 天天北 海 託 海 調 座 Ш 岸 鹽鹽見 查 南 = 郡 郡座間村新 八重河內村天龍 石 東 國國國 市 因 , 油 布 水 ŋ 外 苫羽宗 試 施 道 植 北 掘 村 前幌谷 磯村 水 泉試掘地 支 村 地 石 炭炭炭 源 A. 那 技 7k 鍍 灰 脈 Щ 礦礦礦 地 質 山 師 1 ハ 部 海 久紺 紺 村闆 及石 佐 石 千 |藤(戈) 石 軍 田部 井 松野 野 川井 谷 井 省 技技 技 技技 孎技 技 技)技 技 , 手手 手師 託師 手 師 師 師 師 孎 託 ハ 昭 昭 昭 昭 昭 昭 昭 南 = 和 和 和 和 和 和 和 洋 因 十二年 1-----+ 1. 4. 廳 IJ 44: 43 4: 华. 年 4: 臺 1 至二月二十五日 至古月 至古月 至自 至自 至自 至自 孎 樹 一月 八月月 +-託 油 月二十四日 月月 三十月 四十二日日 十六日日 田 = 十五 因 1 日日 日日 IJ _. 內 部 昭 Ħ 吉 Ħ 海 北 南 赤 和 本 棒 本 **小** 野 東 会 資 會 社 上 南 濱 洋 木 · 森業 太 左石 カ 奥】 柳市 杉 小村 1 技 株 油 > 師 式會社 澤長 近株 1 部 ハ 村工 浦 會司社 ヲ 支 業株式 長 榮 長 彌 調 那 長 文 查 駐 五. = 政 屯 シ 祉:

雄長

豐

軍

A

昶

郞

郞

=

新潟縣古志	野町油田及	縣南津輕郡	長野縣上水	鉄 山 縣 仙 北 北	臺灣	(測
郡、南蒲	南鯖石油魚	千 哉 村 外 町	內 郡 淺 川	郡旭鑛山	豫	量
原郡鹽	田沼郡	オーケ ケ	油町	鹿角	備	地
盤谷油田	刘郡	所、青		丹郡小割	油	名)
	N	森		澤	H	
村小	飯武	小	鈴村	磯久	久	迎
松上	野田	Щ	木田	松	松	量
一技	技	技	技技	技	技	員
雇手	雇手	手	手手	雇手	手	5
昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	
1	十	十	十	十	十	測
车	年	华	年	4E	年	
至自	至自	至自	至自	至自	至自	量
士八	十八	士九	士八	士九	同四	期
月月廿廿	二月 月廿	月月 廿十	月月十六八八	月月六十二	月五一	間
三六	二六日日	八五 日日	八八日日	二二	日日	
			н н	нн		
	地質	地質	地質	地質	師海ノ軍	
	係渡	係組	係鈴	係植	調省	記
	邊技	野	木	村	二託	
	lipi	技手	技師	技師	伴ニフョ	
	調	調	調	調	リ地	
	查	查	查	查	質係	
	伴	伴	伴	伴	植	事
	フ	フ	フ	フ	村技	

本年度 = 於テ (甲) ハ 圖幅 測 圖 調量の 幅 之ヲ 測 量 施行セズ 量

本年 度

=

於テ

施行シ

夕 ル

特

別測

量 ハ

左ノ如

シ

特

別

測

量

										-			
	角	森	生	大	琴	鶴	(圖	本年度		庭兒島縣	田、雨龍郡田、下龍郡田	洋諸島	町業縣長
		吉		聖			幅	ニ 於 テ		出水郡阿	郡留期郡岩	ン ガ	生郡茂原
1	館	山	野	寺	平	來	名	施行		久 根 町	、 見 增澤 毛町	ル島、	が町、夷隅
- ·			· · · · · · ·		**		- Colomb	シタ	•	阿久.	郡附惠近		郡
芦	鈴	小	磯芦小	及	芦	小	擔	ル圖	幅經	根鎖山	货空 別知 油油	イス島	大多喜
	木	松	松	Ж		松		幅經	緯	鈴	芦笹	及	小
澤			崎澤		澤		當	緯	度	木	選 澤	Ж	松
	技	技		嘱		技		度	計	技	澤孎	啒	技
	**		12	2 m g			者)	計算	算	手	雇託	託	手
雇	手	手	雇雇手	託	雇	手	.,	た		昭和	昭和	昭和	昭和
	同	同	同	闻	[司]	本		1		+ =	+	+	十 二 二
						यह		如シ		华	45	华	华
					Na.	废着	記			至自 三月 月月	至七月 月 月 月	至自 七五 月月	至三月月
						手、				廿十	七八	九十	三十五
						本				日日	日日	日日	日日
				•		年				Jalo	Jali	dut als	Jula
						度				地質	地質	師南ノ洋	地質
						完				係組	係飯	調廳查囑	係三
						戍	事			係紺野技	塚 技	- 託 伴 -	土技
	•									手ノ	師ノ	フョリ	師ノ
										調査	調査	地	調査
										=	=	質係	=
										伴っ	伴っ	石井	伴っ
												技	

伊	福	人	袓	高	新	Ħ	秋	(岡	ニシテ 其	七萬五			延
					居	奈		幅	圖幅名	千分一			
野	井	吉	谷	梁	濱	久	田	名	製圖員	圖幅地		(乙) 製	岡
相	笹	小	土	奥	蒯	小	小		其	形			
見	原	宮	岐	田	村	宫	宫	(製	他左表	原圖ノ			磯鈴小
<i>)</i>	pr	ΪΪ	収	lr.f	43	ţЦ	山	閪	1	本		圖	木松
技	技		技	技	技				如 シ	年度	幅		崻
	•	技	技	•	•	技	技	員	•	中二			技技
手	手	手	手	手	手	手	手			完			雇手手
同	同	同	同	同	同	昭	昭			成セ			
						和	和			n			本
						-1-	=	記		モ			年度
						华	年			ノ其	,		治
						废治	度着			數			手
						万 手				六			•
						,	手、			六、着			本
						本	未			手			年
						年	完			後			度
						废	成	事		未			完
						完		Ŧ		完成			成
						成				ルノ			
										Æ			
										1			1.1
										其			
										敷六			
										<i>/</i> \			

本年度ニ於テハ特別製圖ハ之ヲ施行セズ、本年度ニ於テハ特別製圖ハ之ヲ施行セズ、本年度ニ於テハ特別製圖ハ之ヲ施行セズ、本年度ニ於テハ特別製圖ハ之ヲ施行セズ、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
古 山 笹 原 技 手 明 製 田 技 手
ステハ特別製圖ハ之ヲ施行セズ。 二 特 別 製 圖 技 手 明 技 手
特別製圖ハ之ヲ施行セズ
別製圖へ之ヲ施行セズ、 手
別別のショルが行せば、手を、手を、手を、手を、手を、手を、手を、手を、手を、手を、手を、手を、手を、
之 製 原 田 原 田 技 技 様 で ま 手 手
施行 圖 技技
ず手
事事
闻 同

ヲ表ス

本名本品

七

湔 7 ン チ 俺 ŧ V 鑛 鐬 三 石 炭

45 鐡 塚 技 手 關 根 石 雇 ハ \equiv 1: 技 師 1 九 調

張天然瓦斯ノ分析二從事セリ

查

=

伴

٤

昭

和

+=

年

=

月二

日

9

IJ

同

月

+

八

H

迄

千

葉

縣

=

四〇

計

三四

出

鑛物陳列館

缺 * 如 年 t 度 = ル モ 於 1 テ 僅 ハ カ 館 1 内 數 1 種 整 1 理 少 ヲ 主 ナ キ 1-シ = 併 至 IJ テ B 本 IJ 邦 產 华 鏣 废 物 末 標 = 밂 於 1 テ 補 陳 充 列 = 1 努 鑛 メ 物、岩 本 邦 石 產 化 鑛 石 物 及 1 鍍 シ 石 テ

本 所 出 版 = 係 ル 地 質 圖 類 ハ 合 計 七 千 Ħ. 百 餘 點 ナ IJ.

標 尚

妣

=

年 ナ 年 废 IJ 度 購 1 入 參 1 觀 標 者 品 1 ハ 左 百 1 四 如 -[-ク、更 \equiv 名 = = 寄 2 贈 テ 標 前 Ш 年 Ŧ 废 3 + IJ 九 t 點 稍 ア 多 り。共 ク、昭 밂 和 八 目 及 年 芳 以 名 來 ヲ 1 錄 通 計 シ 以 千 テ

謝

意

百

+

C

四五.

「ア ク ア ク	蛋	「モリ プ	紅簾	族 灰「ウ	金	Han (nm		闻	「 <i>ダ</i> ン ブ	「デスモス	自然	E	
プ ダ イ		デ ン」 酸	片	ラン		名)	寄	結晶單	リ」石群	チルス」化	テル	Ħ	Д
<u></u>	石	鹽	石	石	鏃		贈	體	晶	石	n		
佐賀縣东	豚	福岡縣	福岡縣	福岡縣日	朝鮮平安		標					員	†
松浦郡	郡藍	精屋郡宗美	縣京都郡苅田	福岡縣早良郡金	安北道朔日	產	品	五		0	*	數	į
敞木鑛山	オオ しゅうしゅう	吳町井野	町神ノ島	武村西山	朝鮮平安北道朔州郡橋洞金山))		同	宮崎縣西臼杵郡岩戶村土呂久鑛山	福島縣石城郡磐崎村	北海道石狩國札幌郡手稻鑛山	(產	
						地)			村土呂久鑛山		于稻鑛山		
同	同	同	同	木	建	****** -						地	
				下	П	(寄贈者							
				釶		日氏 名)							
				城	潔								

電	۲,	透	透力	透	透	紫	橄ポ	柘	磁	柘	柘	柘	ファ	海	鍅	石	自
氣	150	角	輝;		輝		欖ン		鐵		榴	榴	D			灰	
石		閃	石ン	角	石	蘇	石ッ	石		榴	石	Æi.	1		尖	攀	
透	マ	石	透グ		柱		紫フ	曹	橄	石	舽	直	·	牛		+;	然
角	B	白	角卜	閃	石	輝	蘇(欖		泥	閃	<u>ئے</u>		品	柘	
閃	1	雲	閃ナ	1/4	片	英雄	輝ラ		石	英	片	石	鉞		titi	榴	
石	ŀ		石イルト		Mic		石イ	石					Anti	41%	~	,	rtt.
岩	<u>_</u>	岩	岩上	石	岩	石	岩上	岩	岩	岩	岩	岩	鑛	茵	石	石	础
同	林家亳	同	安奉線林家臺驛對岸	通遠堡驛前	同	同	同	同	安奉線通遠堡干西溝鐵山	同	同	滿洲弓長嶺鐵山	北海道日高國沙流郡貫氣別村字ペンケハヤシュナラ	顧島縣石城郡磐崎村上湯長谷	福岡縣糸島郡今宿村長垂	佐賀縣東松浦郡嚴木鑛山	大分縣速見郡立石村向野
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	都	富.	前	同	同	木
												留	本	Щ			下
													朝	孝			龜

城

-			-						_		
計	會	大學、學會、	官	交交	三箇處ニシ	本年度本		藍	硫黄	帆立	同
HI				換	テ受	不邦ノ	文	晶	結	貝	
		圖書館、		14	入圖	官廳、大			品五	屬化	八
		博物館等	. 64	先	書次	大學、學		石	種	石	種
	脏	等	廳		表ノ如	學會、博	庫	朝鮮	山秋田	和歌	稲井
				箇	シ。	物館、會	/-1-	心清 南沿	秋田縣雄勝 郡	和歌山縣田邊冲產	縣若狹鄉
				處		社		朝鮮忠淸南道瑞山郡浮石面大頭里	郡須川村原毛	2 沖産	福井縣若狹灣口玄達瀨近海
•				數		等 ョ リ		浮石面	原毛鍍		瀬近海
八三	四	四九	0	*		交換		大頭里			
				地)		先 ト					
				受質		シテー					
				圖入		書ノ					
=	1	1_	=	\rightarrow		寄贈		大	大	同	同
				報 圖		ヲ 受		津	橋		
				文書		ケタル			,		*
七七六	=	四八〇	140	類		ルハハ八		盛	良		
_	二六	0	Õ			+		吉			

+ ス **窗處其他二百二十** 本 本 好· 官 本 個 會 大 官 大學、學會、圖書館、博物館等 邦 意 车 學 交 其 1 度 = 邦 官 學 本 3 他 廳、大 邦 IJ 寄 愈 計 換 特 官 寄 學學 圖 廳、大 贈 = 贈 貴 書 先 四 會 學、學 合 重 先 鮾 館 筃 圖 ナ 處 書 計 筚 ル 會 iiL 臉 飭 館 圖 圖 = 處 博 書 書 シ 館 テ 物) 箇 1 數 20 其 館 寄 會 寄 會 贈 社. 報地 質調 贈 社 ヲ 等 處 圖 及 受 3 查 個 ヶ 書 IJ 三五 二五 告所 及 人 數 ŋ 闘 部 = 二七 書 ル 地 五 對 質 數 Ŧ 1 圖 左 シ 寄 1 五 幅 Ŀ 本 地 + 贈 1 Ŧ. 如 所 Ŧ. ヲ 受 件 同 出 受 シ 質 說 版 ァ ヶ 明 ŋ 物 Ŋ 〇五. 書 -6 店 圖 ヲ ル 五 發 = ハ 帲 送 之 + ヲ 田 シ 報 閪 錄 筃 Ħ 二五 三五 圖 n シ 處 文 テ ハ = 同 謝 交 書 シ 說 意 テ 换 明 八 類 7. 先 〇 七 箇 書 八三 八六 二五 三五 124 六 麦 X

	(交 換 光) (交 換 光)	內百二十一箇處二	外國ヨリ圖書ノ	ሰ	計	個	會	大學、學會、圖	ů.	Ţ.	會計
	· ·	シテ園	寄贈ア	計		人	乱	書館等	ミ	他	社
I	六 四 二 巴 七 五 二 巴	幅百	リタ	se (+)	-						e i Sveno ko e
	米南 利北 三 二 一 加亜 七 六 一	八十八八	ルハ地	元 四	三四	-L:	JL.	六五	七三		六 0 四
	型 網 一 六 五 型	報文類九	質調查所	二九三	二二九	-L:		·Ŀ	-L		六
	利藻 太 二 四 ^{運刺}	百四十	所、大學、博	100	九	-L: -L:	儿	0	七三		六四四
	阿 弗 利 七 一 六	四かナ	物館、圖	八 七 九	六八七	=======================================	- <u>-</u> -	= 0	二九		九二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二
	一 計 二 八 四 八 〇 八 地)	リ。即チ次ノ	書館等ノ交	八七九	六八七	=======================================	+	= 0	二九		九 一 二 二
- 6.	九 月 受	如シ。	換先百八	二九三	二二九	-Ľ	儿	·i: O	-L:		六 四 四
	九五 六四七 九四 七		十一箇處ノ	二九三	三九	むむ	九	-L: O	七三		六四四

五.

ţ	라	館 、 圖 、 思	質	(交		處其他中	外國	外國		個	圖大 學、 書學	地質	美	六件アッ	其他的
	ПП	書會	調	換		寄	1	寄	計		會	調		y,	特
Ė.	- where there	館博物	査所	先		贈先十八	地質調査	贈 合 計		人	館物館、等	查所	他	左ニ之ヲ	- 好意 -
	八二	五	110	歐羅巴		、	所大		-	á	77907 T TB-0-			錄シ	3
	六三	三八	五五	米科加引加引	Ł	ニシテ	學、學會	七九	=	=	九		歐羅	テ謝意	諸外國
	ᆫ	九	八	型和型		之ヲ表	博物館	四六	九	_	л	1	米南 利北 加亞	ヲ 表 ス	ノ地質
	九	=	-t:	利を対する。	7	ポス	圖書		<u> </u>			_	亞細	0	調査
				利阿	of .	レ	館	五	四	I	\equiv	_	亞		所、大
	ئ-	_	六	加す	ß	バ左	等二						利濠		入 學、
	ーーセセ	101	七六	計	-	ノ如	我出	六		1			太		個人
F 20		-	F	近地 (シ。	版						阿弗		等
	四八八	八二	六年	報調	發		物ヲ發	八	,=-	_1_		_1_	利加		ョリ圖
	三七二	八九九	Л	地質圖	送		送シ	五四四	二六	=	= 1	_	計		書ノ
	三七二	一八九	B	見同 明 事上	出		タルハ		^	122	- 1/2		地質受		寄贈ョ
	二七	_		油田岡			交換生	九四					地入		受ケタ
	ニャ		Ä	見同 明	版		先百七	九五	1		_1_		形圖圖		グルモ
	1	1	1	其他	物		十七箇	一〇五三	一〇九	Ξ	八三	11 11	報文類		ノニナ

1				
所員ノ異動を	庶	其合	化學及其應用二地質及地理學二	脚入 圖書 ハ 地質 調査 所 世質 調査 所
校命をフェースをフェースを	/m	計他	關スルモノ	個 八 五 五 一
本龍	務		地	籍
雄			形	世、三、四四 文 雑
			一	文雑誌ハ十二種二百九十
		-	<u> </u>	二 九 一 四 四 五 八 四 四
			二三籍	九五十二四三一
		_		
			二〇種文	シロココカテニの四六次
			雑	ニ ニ
		九四	志) 二三 四〇	如一七十十二

技 職 手

金

原

均

手

鉛

木

昇

技

復

技

手

死

孎 託

齌

藤 Œ

次

Щ H 英 雄

年 = ナ 死 本 ル 去 官 ŧ セ 職 1 ラ ブ ヲ ル IJ 解

> 昭 カ

> 和 ν

-1-B

___ ル

年. 後

+ モ

---尙

月 孎

勤 託

續 1

年 勤

1 續

祝 シ

賀 本

會 所

ヲ 製

壆 圖

ゲ 主

任 ŋ

۲ ル

寔 開 催 = シ 痛 各 惜 技 = 術 堪 官 \sim 擔 ザ 任 ル 1 所

業 ナ \equiv シ

務

=

就

丰

報

告ヲ

爲

シ

討

議

" + テ

研

ی

y.

經 究

費 爲 會 越 勵 Щ

水

年

度

經

費

左

1

如

シ

經

常 俸

費

事

業

費 給

五二三二 六二、〇四

九 Ξ

圓 圓 ŧ シ

年 報

> ヺ 精 Æ

テ

ナ 績 昭

告 ヲ

水

年 幾 衝 雄

度 何

= ŧ 功 ハ

於

ケ ク 顯 和

ル 卒 著 七

報

告

會

ハ

 \equiv

目

テ 孎

事 \sim

IJ

H

英 =

氏

114362

臨 時 費

液 體 燃 料自 給 促進費 五六二四三圓

版 物

出

出 版 シ Ŋ ル 圖 書 左 1 如

シ。

址 本

質 年

查 =

所 於

報 テ

第 調 度

酹 商 商 南 工 1 1 I

横 白 宿 茂 圖

手 馬

飍 嶽 圖 圔

幅

圖幅

師 郁 師 飹

技 技 技

石

技

村

井 木 上 Ш

鈴三

賢 凊 達 知

彦 夫 芳 商 工

地

質

幅

尾

去 九 和 八

澤 號 + 號 告

鑛

Щ

原

毛

幅 幅 第

昭

年

度

事

業

報

告

地

質

調 査

所長

山

根

技 師

木 下

觝

城

新

氼

一九

油 田 圖

北

海

道

宗

谷

油

田

地

質

圖

横 手 圖 幅

日 丸 振 龜 島 圖 飍 幅

幅

髷 幅

書

西

幅

糸 地

魚 質 大

Щ 說 寺

圖 明 圖

幅

竝 = 同 說 明 書

形 及 地 質 圖

靑

森

縣

蟹

田

油

田

地

雇 雇 萷 雇 商 商 エ 工 I 技 技 技 員 員 手 廍 員 師 村 飯 鈴 芦 村 飯 塚 Ŀ 木 澤 田 野 保 字 達 文 近 五. 吉 敏 郎 夫 良 夫

商 商 商 商 商 エ エ エ 工 I 技 技 技 技 技 韴 師 師 師 誧

薗

村 佐 Щ 木 藤 部

鈴

達 賢 源 龍 夫 郞

郞

佐

藤

源

現

在

戈

=

技 技 地技 技所 屬 技 技 技 技 技 技 技 係 長師 師長 師 手 師 手 手 手 手 師 師 園 Ŧ 飯 赤 渡 Hi 久 佐 11 1 村 相 松 藤 塚 谷 喜 部 邊 Ш 田 見 根 木 將 友 保 好 山 淸 近 角 龍 久 新 四 治 Ŧi. 之 湛 良 郎 健 郎 助 吉 次 澄 治 郎 技 兼技 技 技 技 技 技 技 技 分析係! 手 手 手 手 手 師 部 師 紺 \equiv 神 石 植 松 米 土 施長 大 村 谷 野 崹 岐 井 村 1: 菊 癸 野 芳 美 氼 龍 知 淸 太 E 房 郎 郎 雄 造 芳 彦 男 赳 技 地技 形 技 技 技 技 技 技 技 保 長師 手 手 **手** 手 手 餔 ŘЮ 部 佐 佐 鈴 渡 笹 武 奥 平 小 田 瀬 原 藤 松 藤 木 塚 田 季 正

隆

次

源 達

郎夫郎止

Ξ

直榮

藏 雄 郎 稔 治

技 赐 技 手 託 手 笹 金 秋 井 原 本 泰 均 龍 造 =雄

託 及川常吉 辞 蘇 正 次

赐技

技

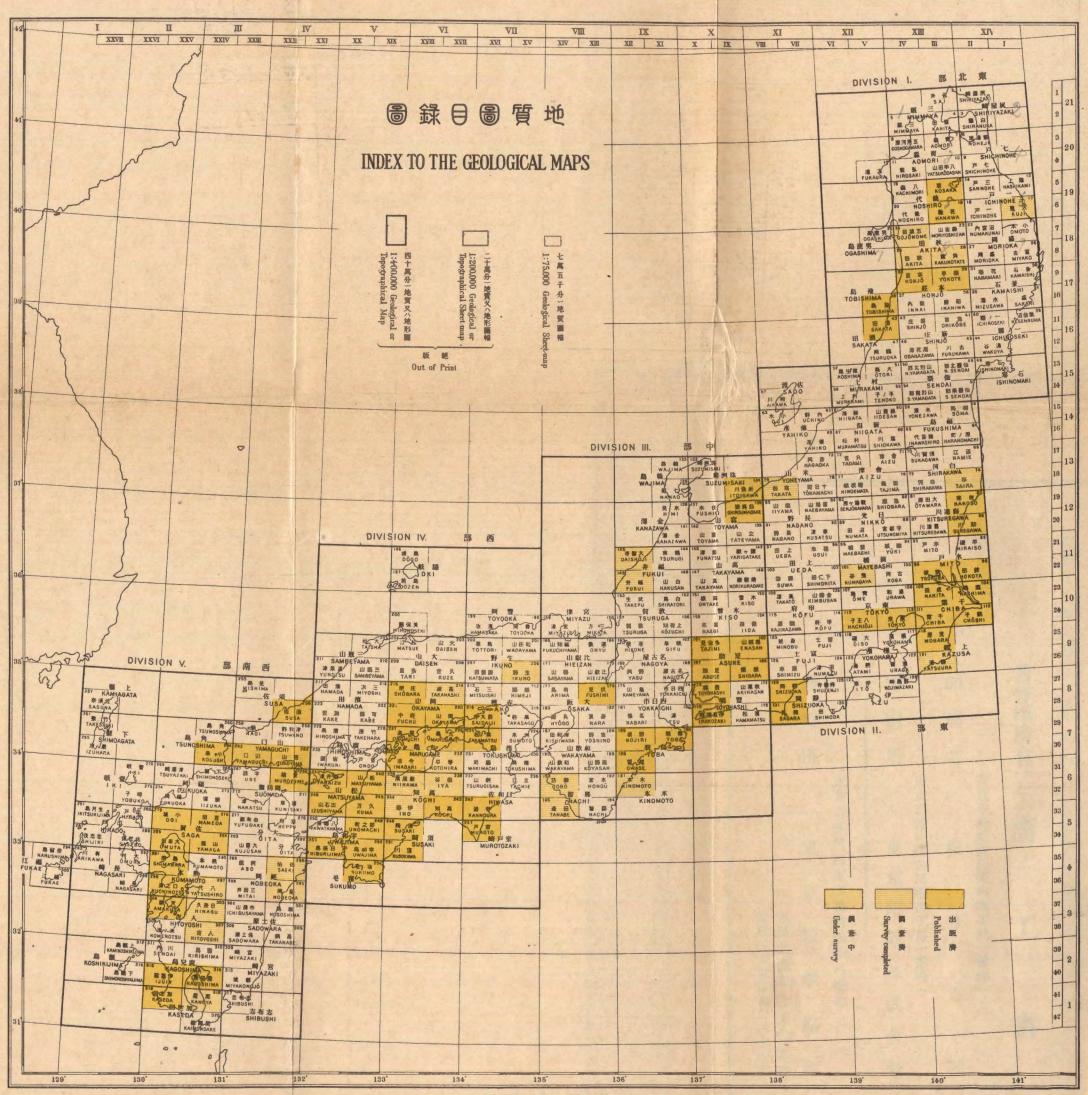
手

技

磯

野

清



昭和十二年九月十五日 印刷

昭和十二年九月二十日 著作權所有 發行

商

東京市深川區白河町四丁目一

番地

郵稅金 參 錢定價金六拾五錢

省

東京市麴町區下二番町四十八番地

行

發

卽

刷

所

東

京

即

刷

株

式

會

社

東京市深川區白河町四丁目一番地

EII

刷

者

松

井

方

利

所

東

京

地

學

協

會

振替口座東京六六二七八番電話 九段33○五○九番

IMPERIAL GEOLOGICAL SURVEY OF JAPAN

REPORT No. 120

Annual Report for the Year ended March 31, 1937

By

SHINJI YAMANE, Director.

Division of Geology: The field works for the 1:75,000 sheet mapping of Ikuno (Zone 26, Col. XV, No. 206), Daishōji (Zone 21, Col. XII, No. 145), Kakunotate (Zone 8, Col. III, No. 28), Nobeoka (Zone 36, Col. XXI, No. 295) and Kotohira (Zone 30, Col. XVII, No. 232) were newly started by five geologists in this fiscal year. Those of Ikuno and Daishōji sheets were completed at the end of the year, while those of remaining three sheets have been unfinished and will be undertaken in the coming year.

The Oil-land Survey recommenced in the last year was carried on by three parties in this year. Mapping works, both topographic and geologic, of the Sorachi and Etaibets oilfields in Hokkaidō, the Okanomachi field in Echigo (Pref. Niigata) and Asagawa field in Shinano (Pref. Nagano) were completed. Moreover a topographic mapping work of the Shiotani and Minami-Sabaishi oilfields in Echigo was accomplished in advance.

As special investigations, some test oil-wells in the Prefectures of Akita and Niigata, the hot springs near Kōfu City in the Prefecture of Yamanashi, some localities of non-metallic industrial minerals in the Prefectures of Aomori and Iwate, and the natural gas localities near Ōtaki in the Prefecture of Chiba were visited by four geologists. The geological structure of the environs of Taira, Iwaki (Pref. Fukushima), and the ore deposits of the Obira Mine, Bungo were specially investigated by two geologists. Geophysical underground prospects applying the electrical and seismical methods were practised in the oilfield near Kashiwazaki, Echigo, at the Miyazaki Mine in Miyagi Prefecture, the Asahi and Kowarizawa Mines in Iwate Pref. and the Akune Mine in Satsuma (Pref. Kagoshima).

At the requests of the public, geologists were sent to examine the groundwaters in Yamagata City, Uzen, Kainan City, Kii and near Zama-mura in Sagami; and the hot spring of Yoshihama in Izu; to inspect the oilfields of Saghalin; to explore coal seams in Sōya and Haporo in Teshio, Hokkaidō; limestone resources in Higashifuse-mura, Etchū; the ore deposit of the Tenryū Mine in Shinano, and the phosphate rock on Fays and Angaur in South Sea Islands.

Division of Topography: Eight topographers and assistant topographers were engaged for mapping of the oil-lands of Sorachi and Etaibets in Hokkaidō, Shiotani, Okanomachi and Minami-Sabaishi in Echigo and Asagawa in Shinano.

The Asahi and Kowarizawa Mines in the Prefecture of Iwate, several localities of non-metallic mineral deposits in the Prefectures of Aomori and Iwate, natural gas localities near Ōtaki in Chiba, the Fays and Angaur in South Sea Islands and the Akune Mine in Satsuma were topographically mapped in connection with the special investigations.

Calculations of formulas for projecting parallels and meridians of the 1:75,000 Geological Sheets, Tsurugi, Kotohira, Daishōji, Ikuno, Moriyoshizan, Kakunotate and Nobeoka were made by five topographers and assistants.

Drafting works of the 1:75,000 sheet-maps, six sheets, Hinagu, Niihama, Takahashi, Iya, Hitoyoshi and Fukui were completed and those of six sheets, Akita, Ino, Kakunotate, Daishōji, Tsurugi and Moriyoshizan were under preparation at the end of the fiscal year.

Division of Chemistry: Rocks, ores, mineral springs, petroleum, natural gases and coals that analysed in this year were numbered at 134. One chemist accompanying an assistant was sent to collect the natural gases from the neighbourhood of Otaki in the Chiba Prefecture.

Museum: Seven minerals and ten pieces of a fossil Desmostylus were deposited to the museum by purchase and 9 mineral specimens, 2 ores, 14 rocks and 13 species of fossils were contributed to the museum from people outside of the Survey, to whom the deepest appreciations are hereby expressed.

Library: Number of reports, books and maps which were added to the library was as follows:

Report and M	ts, Books Jagazines	Maps
By exchange at home	776	3
By exchange from abroad	107	0
By contribution at home	944	188
By contribution from abroad	109	1
By purchase	398	1
Total 2	,334	193

General affairs: There have been a little staff changes during this year. Two assistant geologists, one assistant topographer and one clerk were appointed. It is with deep regret that we record the death of Mr. Fusao Yamada on Feb. 2, 1937, who had been a draft man to the Survey since 1906 for over thirty years. It may be said that his works were of an order which makes it difficult to replace him.

The government appropriation granted to the Survey in this fiscal year was as follows:

Total	¥170,605
For oil-land survey	¥ 56,243
For the working expense	¥ 52,319
For the salaries	¥ 62,043

Publications: Two survey reports, five 1:75,000 geological sheet-maps, four explanatory texts of the geological sheet-maps and two topographical and geological maps of the oil-lands with explanatory texts were published in this year:

Report of Imperial Geological Survey of Japan,

No. 118.....Annual Report for the year ended March 31, 1936.

By Shinji Yamane, Director.

No. 119..... The Osaruzawa Mine.

By Kameki Kinoshita, Geologist.

The 1:75,000 Geological Sheet-Map,

Mobara·····Zone 25, Col. IV, No. 116.

By Tomofusa Mitsuchi.

Sukumo·····Zone 35, Col. XIX, No. 254.

By Tatsuo Suzuki.

Shiroumadake Zone 19, Col. IX, No. 136.

By Kiyohiko Ishii.

Yokote·····Zone 9, Col. III, No. 32.

By Ken-ichi Murayama.

Saidaiji Zone 28, Col. XVI, No. 219.

By Motoo Satō.

Explanatory Text to the 1:75,000 Geological Sheet-Map,

Itoigawa Zone 18, Col. IX, No. 34.

By Ryuichi Sonobe.

Marugame.....Zone 29, Col. XVII, No. 226.

By Motoo Sato.

Hiburijima·····Zone 34, Col. XX, No. 253.

By Tatsuo Suzuki.

Yokote Zone 9 Col. III, No. 32.

By Ken-ichi Murayama.

Topographical and Geological Map of the Oil-fields of the Japanese Empire with Explanatory Text,

Sect. XXX, The Sōya Oil-field, Hokkaidō.

By Yasugoro Iizuka.

Sect. XXXII, The Kanita Oil-field in the Prefecture of Aomori.

By Tatsuo Suzuki.

APAC TO

IMPERIAL GEOLOGICAL SURVEY

OF

JAPAN

REPORT No. 120

TOKYO, 1937